

広報 まき

1976
2 / 10

発行 / 新潟県巻町役場

編集 / 企画課

毎月10日・25日発行

第237号



まきっ子ぐんぐん

ました。当日はここ巻小学校でも元気な子どもたちが父兄に付き添われて、歯、視力、内科などの診断を受け、一日も早い入学式に夢をはせていました。

一月二十二日から各小学校で、四月に入学する子どもたちの健康診断が行われ

小林 洋介



☆生年月日 四十九年十月四日
☆住所 八区☆両親の名前 秀之(父) 美恵子(母) ☆続柄 長男 ☆名づけ親 父 ☆名前の由来 心の広い現代人になるように ☆愛称 ヨウちゃん ☆好物 バナナ、タマゴ

赤ちゃん 登場

玉木 亜矢子



☆生年月日 四十九年十二月五日
☆住所 二区 ☆両親の名前 力(父) 由美子(母) ☆続柄 三女 ☆名づけ親 父 ☆名前の由来 やさしく心の大きな娘になるように ☆愛称 アヤちゃん ☆好物 ミカン、カルピス、エルビー

加入をみる家族 交通事故 50年は 413件 増える

見舞金 (51年4月1日から)

等級	災害の程度	金額 (円)
1	死亡した場合	700,000
2	自賠法施行令別表の等級区分の1級各号に掲げる傷害の場合	400,000
3	治療を要した期間が6か月をこえ、かつ、入院30日以上を含む実治療日数90日以上のもの	130,000
4	治療を要した期間が5か月をこえ、かつ、入院21日以上を含む実治療日数75日以上のもの	100,000
5	治療を要した期間が4か月をこえ、かつ、入院14日以上を含む実治療日数60日以上のもの	80,000
6	治療を要した期間が3か月をこえ、かつ、入院7日以上を含む実治療日数45日以上のもの	60,000
7	治療を要した期間が2か月をこえ、かつ、入院・通院の実治療日数30日以上のもの	45,000
8	治療を要した期間が1か月をこえ、かつ、入院・通院の実治療日数15日以上のもの	30,000
9	入院・通院の実治療日数7日以上のもの	10,000

あつた日から一年間は有効です。で、うっかり忘れていた人は、早目に請求手続きをしてください。

前年の支払い実績
町では、五十年四月一日から五十年一月三十一日までに、百三十六万五千円の見舞金給付がありました。

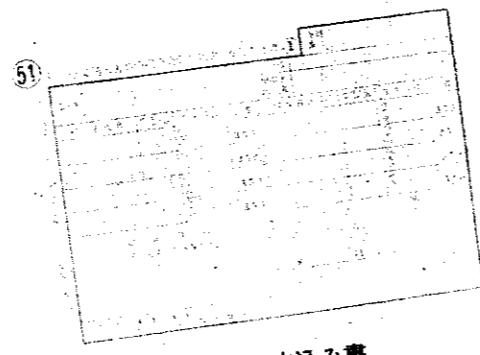
内訳は一等級一件五十万円、二等級三件三十万円、五等級一件六万五千円、六等級一件五万円、七等級六件二十一万円、八等級七件十四万円、九等級二十件十万円となりました。

町の加入率七四%
五十年一月三十一日現在の各地区ごとの加入状況は次のとおりです。総人口加入率の順。

▽巻地区 一四、二八九人・七〇%
▽五部落 七九人・八一%
▽二部落 三二七人・八四%
▽漆山

増える交通事故
発生した交通事故(人身事故)は、前年より四十三件(七一%)増え百四十八件となりました。

地区別
地区 四四八七人・八六%
尾地区 三六〇一人・八四%
田地区 一九七六人・七九%
浜地区 二〇八八人・七六%



△加入申込み書

事故の内訳は、前年ゼロを記録した死者が三人、傷者は百九十三人(前年百二十一)となつています。その中で特に交通弱者といわれる子どもと高校生の事故が増え、前年六件の園(幼)児が十件、小学生十二件(前年十件)中学生八件(同二件)高校生十八件(同八件)となつており、前年は七件であった高校生の自動車(主にバイク)事故の急増がめだちます。

町一丸で交通安全
飲酒運転をはじめとして交通四悪といわれる無免許運転、スピード違反、無理な追い越し運転が、だんだん増加してきています。

警察署でも、五十年の交通安全スローガンを、運転者向けに「運転が示すあなたのお人柄」、歩行者向けに「危ない子どもを引こう」、子ども向けに「とび出す車のあとにまた車」とそれぞれ決定し、事故防止を呼びかけています。また、町でも交通安全施設の整備充実を努める一方、各関係機関・団体の協力を得ながら事故防止に取り組んでいます。

今年も町ぐるみの交通安全に、みなさんのご協力をお願いします。



△いつも近くに危険が……

三月から納税相談 所得税・住民税・事業税 自主申告で正しい納税を

今年も所得税、住民税、事業税の確定申告をしていただく時期になりました。2月末日ころまでに申告用紙を配布しますので、昨年中の所得金額をご自分で計算し、正しい申告と納税をしていただくようお願いいたします。なお、申告書の書き方などについてわからない方は、3月上旬から共同納税相談を行いますので、お気軽においでください。くわしい日程は2月25日号でお知らせします。

◆ 住民税の申告が必要な人

- ①50年中に所得があり51年1月1日現在巻町に住所のある人で、営業や農業などの事業を営んでいた人。また大工左官など給与所得者でない人で、50年分所得税の確定申告の必要のない人。
- ②50年中に土地、家屋などの収入があつて、50年分所得税の確定申告の必要のない人。
- ③給与所得者で、50年中に収入のあつた給与所得以外(地代、家賃、配当、外務員報酬など)について、50年分所得税の確定申告の必要のない人。
- ④50年中に所得税の源泉徴収を受けなかった賃金所得のある人(たとえば農業従事者で日雇賃金のある人など)や家事手伝い人など。

◆ ご持参いただくもの

- ①住民税、所得税、事業税の申告書。
 - ②給料の支払い等源泉徴収に関する帳簿、書類。
 - ③生命保険料、損害保険料の支払い証明書。
 - ④印鑑、その他申告に必要なもの。
- ◆ その他
期日までに申告しなかった場合は生命保険料、社会保険料、雑損や医療費などの控除が認められませんので、忘れず期間内に申告をしてください。



△昨年の申告風景(福木岡農協で)

加入の手続き

五十年度分は三月三十一日まで有効期間が終了するので、今月中旬に区長さんを通じて、五十年度の加入申込み書を各家庭へお送りします。会費は一人三百五十円で、三月三十一日までに加入しますと四月

一日から有効になりますので、現金を添えて早目に申込んでください。

アップされる見舞金

見舞金は九等級に区分(左表参照)されておられ、五十年四月一日の事故から見舞金の金額が改正され、実治療日数七以上一万円(現行五千元)から死亡した場合合七十万円(同五十万円)までそれぞれアップされます。なお、見舞金の請求は事故に



国民年金 現況届け忘れずに

老齢年金受給者のみならず、二月十五日までに「現況届け」を忘れずに提出してください。

この届けは、これからも引き続き年金を受けるために受給者のみなさんの現状を確認するためのものです。毎年一回提出していただ



消費者コーナーのご利用を

町では公民館に「消費者コーナー」を設け、みなさんの見学を待ちしています。このコーナーは商品の見本、商品表示の見方など消費者から最低限知っていただきたい知識をパネルで展示してあります。

上手な買い物をして、賢い消費者になり豊かな消費生活を送っていただくためにも、大勢のみなさんのご利用をお待ちしています。

◆苦情相談室もご利用を 毎週木曜日午後一時から三時まで、公民館で開いています。消費生活全般についての相談を受けますのでお気軽においでください。



やめよう犬の放し飼

最近、犬の放し飼いが見受けられ、庭や畑を荒したりゴミ収集場所などでエサをあさり、付近の人たちが迷惑しています。犬が、郵便、新聞、牛乳などの配達人や訪問者に迷惑や危害を及ぼすことのないよう、飼い主は十分注意して、綱の長さやつなぐ場所を選んでください。住みよい町づくりは住民一人一人の注意からつくられます。なお、犬についての苦情、相談は環境課または保健所へ。

消火器の押し売りにご注意ください



消火器の家庭訪問販売で詐欺的、恐喝的手段や消防署員の名をかたって押し売り事例が見られます。悪質の訪問販売がありましたら警察署または消防署へすぐご連絡ください。

新潟高校通信制の生徒募集

- 入学資格 中学校卒業と同等以上の学歴の者(年齢不問)
募集人員 ①卒業コース(高卒資格の取得を目的)300人②科目別コース(希望科目のみ学習)若干名
願書受け付け 2月20日~4月10日
選抜方法 書類選考
願書請求 返信用封筒にあて名を明記し切手70円を添えて、新潟市関屋下川原町2 県立新潟高校通信制へ



内部障害者入所募集

- 目的 内部障害者の健康管理を行いながら技能を身につけ、社会復帰を促進する。
施設名 県後保護指導所(柏崎市松波)
入所資格 呼吸器・心臓・腎臓機能障害者で15歳以上の者。ただし医師の認めた者。
入所費用 生活保護世帯・低所得者は無料 高額所得者は食費負担
訓練科目 電気・洋裁編み物・印刷・経理簿記の各科。
申請書提出期限 3月10日まで社会課へ
入所日 4月1日

税務署から

- 国税モニター 税金について悩んだり、意見をお持ちの方も多いと思います。そこで税についての意見を聞いて、その声を税務署に伝えるために国税モニターがあります。巻税務署管内のモニターは坂田毅さん(6区)です。お気軽にご利用ください。

交通事故相談

- とき 3月11日午前10時から午後3時
ところ 役場住民相談室
内容 交通事故全般

町民講座

- とき 2月29日午後1時から
ところ 公民館
講師 県国土緑化推進委員会専門委員・本間久雄先生
演題 庭木のふやし方と育て方
主催 公民館・緑と土に親しむ会

町民バドミントン大会

- とき 3月14日
ところ 巻高校
種目 男女ともダブルス・シングルス戦
参加者 小中学生を除く一般町民
申込み 3月6日までに公民館へ申込みを

稲島の大杉

稲島薬師堂境内 昭和四十四年三月指定

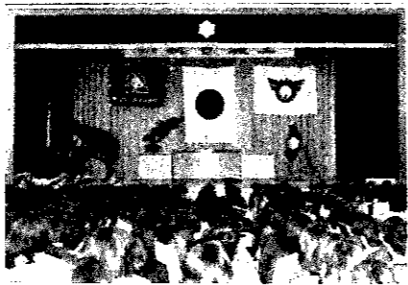


稲島薬師堂境内にある大杉で、木の高さは約二十二メートル、枝下約四メートル、根回り十一・五メートル、目の高さでの幹のまわり六メートル、枝の広がり約十メートル四方におよび、根張りほととくにすばらしく境内いっばいに広がっています。樹齢(木の年齢)は約千年と推定され、五十年前に落雷を受けたといわれ、その跡と思われる垂直の線がわずかに残っていますが、現在、木の勢いは旺盛でその威容を示しています。

薬師堂境内で威容をほこる大杉



一月二十日、巻北小学校(長沼長三校長)の統合と体育館の完工を祝って、記念式典が同校体育館で行われました。当日は全校児童職員をはじめ大勢の来賓が参加。町長の式辞、助役の経過報告、感謝状贈呈、来賓祝辞のあと、同校後援会(杉山泰三会長)から贈られた校旗と新しい校歌のひろう、児童の喜びのことばなどで統合と校舎・体育館の完工を祝い、これからの同校発展を願い合いました。



方向は自分できめる

農業振興協議会 西村欣策

今こそ農村の人たちがお互いにヒザをつき合わせて語り合い話し合わなければならない大事な時期になった。農村の労働力に羽根が生えて飛ぶという時代は、「時間が金で……」忙がしさのために農業も家も顧みるヒマもなかった。そして、どんな対策をたてても「ちつとも反応のない農村」という時代が長かった。しかし、この頃の世相は足が地につかないようなことでは、過ごせる時代でなくなったのである。「産業計画懇談会」という、経済専門家がつくっている会の報告書によると、「日本の行き先」はここ二カ年半くらいは決まらないうし、見つけられないと言っている。「この二カ年半の間に新しい日本の方向、新路線を確立しなければならぬ」と予言している。何のことはない日本中が今その方向を模索しているという形だ。これから各界各分野でその進路を見つけて出すべきだとされているのである。農業と農村が日本経済の土台石となって、土地も人も農産物も農村人の幸せと反対の方向に使われてしまった。そんな過去

園長もまげずに研修

園児にまげず自分たちも勉強をと、保育園長も真剣に研修に取り組んでいます。町内の公・私立保育園の園長で構成している「園長部会」は年四回開かれ、各保育園ごとの話題の交換や、園長同志の交流を深めたりして、お互いの研修の場として活用しています。



1月28日行われた乳児検診には大勢の赤ちゃんが受診。身体計測や医師の内科診断に、母親はわが子の成長ぶりに真剣に見入っていました。





18 郡会議員

郡制が施行されて、初めての西蒲原郡会議員が選出されたのは明治二十三年ですが、この写真は明治三十五年一月に撮影された、郡長・郡会議員の写真で大へん貴重な資料です。写真の多くは顔の知らない方ですが、最前列中央の洋服の人が当時の郡長田宮従義さん、議員では前から三列目の右から四人目が鷺ノ木の川村松一郎さん、同列左から三人目が巻の藤田定次郎さんで、首席郡書記の高橋平十郎さん(巻)は郡長の左に写っています。写真・鷺ノ木川村智さん 文・石山郷土資料館長



うぶごえ

なま	え	出生月日	保護者	区名
橋高山	美奈	12.13	荻進	赤松区
倉杉	奈雪	12.13	進毅	四ツ野区
高酒	雪里	12.14	弘秋	松野区
武之	井雪	12.15	正忠	赤松区
土高	内雪	12.16	一雄	並岡区
篠上	田慎	12.17	常英	峰田区
安田	原詩	12.18	研一	角野区
田小	田美	12.19	一史	漆野区
小渡	出寛	12.20	達男	鷺ノ木区
桑土	出茂	12.21	達喜	松野区
石原	出剛	12.21	富孝	東上区
駒野	田佳	12.22	衛一	堀地区
川村	修み	12.24	清二	1区
五中	幸子	12.25	耕三	1区
小若	美奈	1.2	則代	2区
中沢	耕佳	1.5	喜辰	布割区
和木	浩浩	1.6	英清	赤坂区
五小	隆恵	1.9	勝太	4区
	哲智	1.9	昭幸	1区
		1.10	正一	9区
		1.10	柴重	松野区
		1.11		堀山地区
		1.12		2区

おくやみ

なま	え	月日	年令	区名
市橋	セキ	12.20	60	松野区
龜山	ヨキ	12.20	84	11区
桑原	走一	12.20	59	稲島区
本間	ムツ	12.22	75	福井区
沢山	ヨミ	12.23	88	漆山区
富山	忠衛	12.26	0	馬堀区
八木	スフ	12.27	84	10区
星野	フナ	12.28	79	東仁区
渡辺	節之	12.30	82	7区
石田	助ク	1.4	78	赤坂区
幸陶	市ヨ	1.5	79	並岡区
佐水	尾郎	1.5	81	赤坂区
灰笹	治ノ	1.6	81	並岡区
金富	熊キ	1.7	62	漆山区
白大	熊夕	1.8	61	松野区
土田	熊タ	1.8	68	峰馬区
加勢	正三	1.9	71	稲角区
	栄カ	1.11	90	10区
	チ正	1.11	94	漆山区
	ヨ米	1.13	82	
		1.15	49	
		1.15	79	
		1.17	59	

保健衛生のお知らせ

乳児検診 ▼とき 二月十七日
午後一時三十分から二時三十分
▼ところ 分室▼対象児 五十年二月生まれ

二歳児検診 ▼とき 二月二十日
午後一時三十分から二時三十分
▼ところ 分室▼対象児 四十九年二月生まれ

先天性股関節脱臼検診 ▼とき 二月二十五日午後一時三十分から二時三十分
▼ところ 分室▼対象児 五十年十月、十一月生まれ

乳児検診 ▼とき 二月二十六日午後一時三十分から二時三十分
▼ところ 分室▼対象児 五十年七月生まれ

外 科

11日 分水・本間医院 ☎分水(7) 2350

15日 県立吉田病院 ☎吉田(2) 5111

22日 町立巻病院 ☎(2) 3111

29日 分水・榊原医院 ☎分水(7) 3128

2月休日救急病院

内 科

11日 笠原医院 ☎(2) 6161

15日 町立巻病院 ☎(2) 3111

22日 西川医院 ☎(2) 6066

29日 長沼医院 ☎(2) 2210

役場 (代) 二一三三二

分室 (代) 二一五一四

町立巻病院 (代) 二一三一一

消防署 二一三三〇九

水道課 二一三二六四

公民館 二一三三二九

教育委員会 (代) 三一〇〇〇

電話メモ